

## 学校経営推進費 事業計画書

### 1. 事業計画の概要

学校名	泉北高等支援学校
取り組む課題	D 生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援学校における生徒の自己実現率の向上</li> <li>・ 支援学校における地域連携と外部への情報の発信</li> <li>・ 支援学校における生徒、保護者の学校満足度の向上</li> </ul>
計画名	学びのエンゲージメントを高め、「チャレンジ・つながる・自立」を実現する泉北レモンプロジェクト ～地域とつながり、地域に貢献する～

### 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画 の中期的目標		<p>1 自己実現と社会参加を促進するキャリア教育の充実</p> <p>（１）主体的な進路選択の実現に向けて、キャリア教育を教育課程の中核に位置づけ、地域や関係機関等と連携しながら組織的・計画的に取り組む。</p> <p>（２）学校間や異校種間、地域との相互交流の機会を設定し、交流及び共同学習を積極的に進める。</p> <p>2 専門性の継承・向上のために学び続ける教職員集団の形成</p> <p>（１）生徒の状況や学校・地域の実態に応じて、適切な教育課程を編成するとともに、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。</p>
事業目標		<p>① 学びのエンゲージメントを高め、自立・自己実現を支援する</p> <p>レモンの育成や作業、交流を通して、子どもの「興味・関心」「学習の意義・目標」「粘り強く努力する力」「他者と協力する力」のエンゲージメントを高め、課題発見し、他者とつながり、解決する力を育成し、人生において自分で切り拓く自立の力を育む。</p> <p>② 地域の方々や企業・他校との連携を強化し、卒業後に地域で生活する基盤を自らつくる</p> <p>地域の企業等と連携してレモンの自校製品の開発や育成を行うとともに、地域コミュニティの拠点として地域の方々とながら、情報発信をする。レモンの活動を通して高校間交流を行い、発表等を行う中で自己の役割を果たす。自ら地域と関わり、地域社会の一員として地域で生活する礎を作る。</p> <p>③ 体験的で深い学びを実現する授業づくり外部の専門家を交え、教科横断的な学びとなるよう教育課程を見直し、体験的で深い学びとなる授業づくりの研修を行う。</p>
取組 の 概 要	整備する 設備・物 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レモンの育成（苗木、肥料、手入れの道具類）</li> <li>・ レモンの加工（精油機、電動レモン絞り器、精油用ボトル等）</li> <li>・ 喫茶室用設備（冷蔵庫、滅菌庫、洗濯機、カウンター付き作業台、テーブルセット、タープ等 他消耗品）</li> <li>・ レモン関連の製品作り用物品（布プリンター、クロスステッチ布等）</li> </ul>
	取組 内容  前 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の活動団体「泉北レモンの街ストーリー」と連携開始。泉北レモンの商品作りの受注作業を職業の授業等で取り組んだ。</li> <li>・ 取組を保護者にも情報発信するとともに、作られた商品が販売されている様子などを生徒にも伝え意欲の向上につなげた。</li> <li>・ さかいSDGsプラットフォームに加入し、泉北レモンに関する取組を広く堺市や企業に発</li> </ul>

			信し、協力を募り、企業とつながり始めた。	
	初年度		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 泉北レモンプロジェクトチームを立ち上げる。</li><li>・ 生徒に泉北レモンプロジェクトの概要について伝え、各教科の取組みの中で、泉北レモンに関わる学びの際にプロジェクトの一環であることを伝えて意識づけを行う。</li><li>・ レモンの植樹祭をし、校内でレモンの栽培と育成を開始。</li><li>・ 地域の活動団体「泉北レモンの街ストーリー」の方に講師として来ていただき、講演・出前授業を行う。</li><li>・ 泉北レモンの商品作りの受注作業を引き続き行うとともに、新たな作業（レモン絞りなど）にも取り組む。</li><li>・ 総合的な探究の時間や職業等の教科で堆肥作り、レモンの枝葉の活用方法の考案やレモン活用のレシピの実践。レモンが収穫できるまでは「泉北レモンの街ストーリー」のレモン畑の剪定や収穫作業の実習を行う。</li><li>・ 泉北レモンプロジェクトとし、キャリア教育の観点で教育課程へ組み込みシラバスを改訂。外部の専門家をオブザーバーとして招聘し、本取組みに係る研修及び協議を行う。</li><li>・ 調理室の改修を開始する。</li></ul>	
		2年め		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 喫茶室の完成。地域コミュニティの拠点として運用開始。地域の自治会の方々、高校間交流等で来校の方々に食品の提供をする。</li><li>・ 職業の授業で接客・販売の学習、数学で金銭の計算、国語で敬語の学習など教科横断的に学習したことを販売学習で実践。</li><li>・ レモンの枝葉等を活用した自校製品（精油等）の開発を開始する。</li><li>・ レモンのデザインを考案し布やシール化して製品を作る。</li><li>・ さかいSDGsプラットフォームやレモンフェスタを通じて取組みについて地域や企業に情報発信する。</li><li>・ 各教科で泉北レモンプロジェクトに関連した学習を推進。授業の実践と確認、外部の専門家（同上）を交えて研修し、教育課程の見直しを行う。</li><li>・ 泉北レモンプロジェクトを通じた他校との連携開始。</li></ul>
			3年め	
	取組みの主担・実施者		主担：校長・教頭・首席・部主事・教務主任・指導教諭・進路専任を中心とした「泉北レモンプロジェクトチーム」。従来からある「教育課程検討委員会」「教科会」とも連携しながら進める。 実施者：全教員	
成果の検証方法と評価指標	初年度	<ul style="list-style-type: none"><li>①各学年での植樹祭の実施。就労支援コースによる地域のレモン畑での収穫を実施（10月～11月）、レモンを活用した加工作業の実施（2月まで）</li><li>②12月までにカリキュラムマネジメントを行い、関連する各教科のシラバスの見直し・改善を実施</li><li>③学校教育自己診断（生徒）における「授業や行事、部活動で他の学校や近所の人と交流する</li></ul>		

		<p>ことがある」の肯定率を 55%以上にする。【R6 51.3%】</p> <p>④学校教育自己診断（生徒）における「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の肯定率を 75%以上にする。【R6 72.5%】</p> <p>⑤学校教育自己診断（教員）における「年間の学習計画について、学年・教科・学習グループでよく話し合っている」の肯定率を 75%以上にする。【R6 72.1%】</p>
	2 年 め	<p>①地域等の方々に喫茶室を利用して喫茶の提供などの接客販売を行う。年 2 回以上実施。</p> <p>②レモンを活用した製品を開発し、3 種製作する。レモンをデザインした製品を 2 種製作する。</p> <p>③学校教育自己診断（生徒）における「授業や行事、部活動で他の学校や近所の人と交流することがある」の肯定率を 60%以上にする。</p> <p>④学校教育自己診断（生徒）における「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の肯定率を 80%以上にする。</p> <p>⑤学校教育自己診断（教員）における「年間の学習計画について、学年・教科・学習グループでよく話し合っている」の肯定率を 80%以上にする。</p>
	3 年 め	<p>①レモンを活用した製品を制作し、販売する。年 3 回以上。</p> <p>②他校や地域と泉北レモンを通じた交流 3 回以上実施する。</p> <p>③学校教育自己診断（生徒）における「授業や行事、部活動で他の学校や近所の人と交流することがある」の肯定率を 70%以上にする。</p> <p>④学校教育自己診断（生徒）における「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の肯定率を 85%以上にする。</p> <p>⑤学校教育自己診断（教員）における「年間の学習計画について、学年・教科・学習グループでよく話し合っている」の肯定率を 85%以上にする。</p>